

公立羽咋病院における 地域包括医療ケアへの取り組み



平成30年1月24日

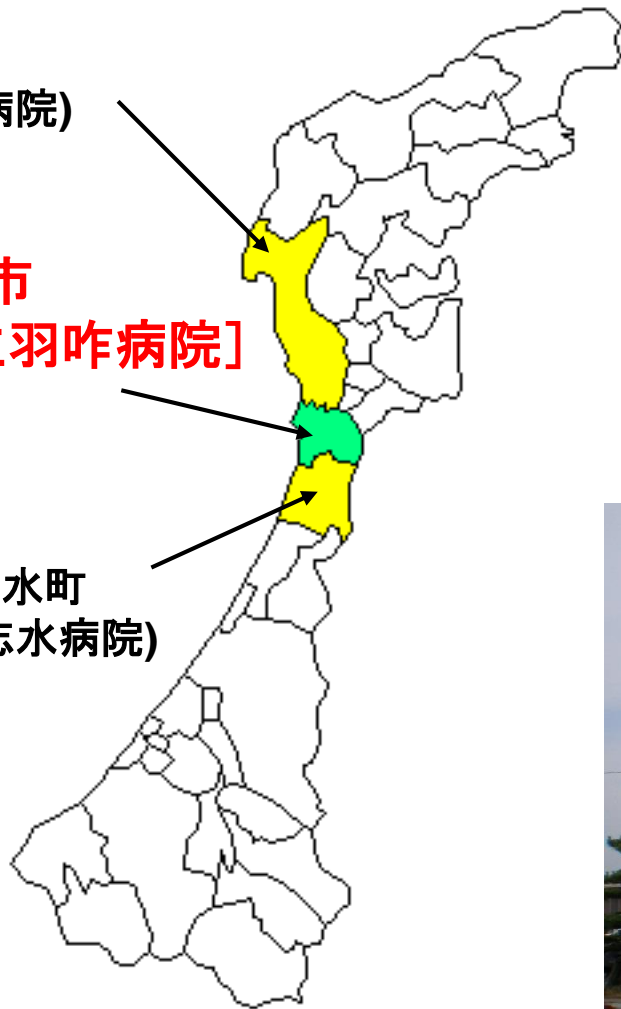
第2回能登中部・能登北部医療圏保健医療計画推進協議会

公立羽咋病院

羽咋郡
志賀町
(富来病院)

羽咋市
[公立羽咋病院]

羽咋郡
宝達志水町
(宝達志水病院)



羽咋郡市広域圏1市2町を中心
にその医療の中核を担う

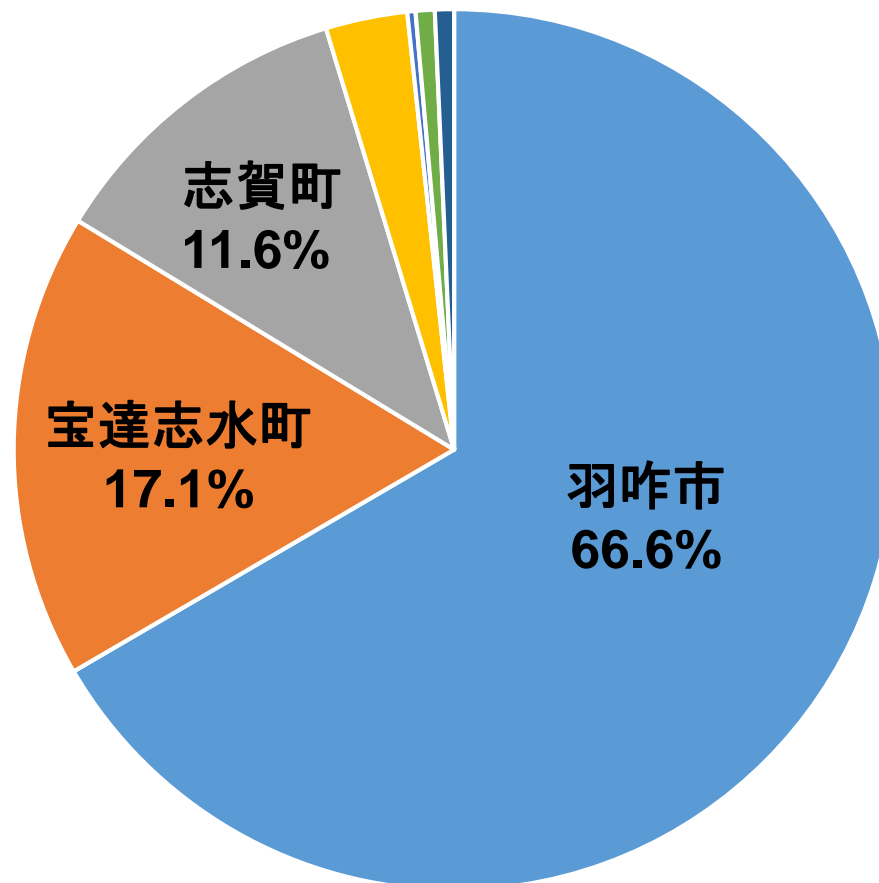
人口:約5.4万人

高齢化率:約37%



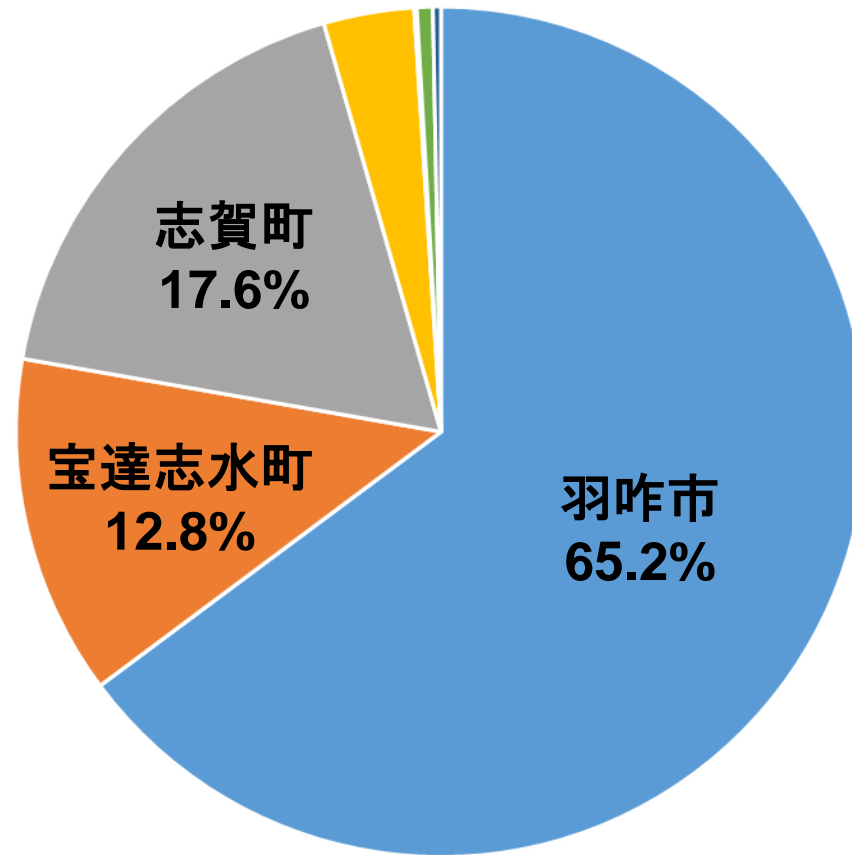
公立羽咋病院地区別外来患者割合

(2017年度総数113,311人)



- 羽咋市
- 宝達志水町
- 志賀町
- 能登地区
- 金沢市
- 加賀地区
- その他

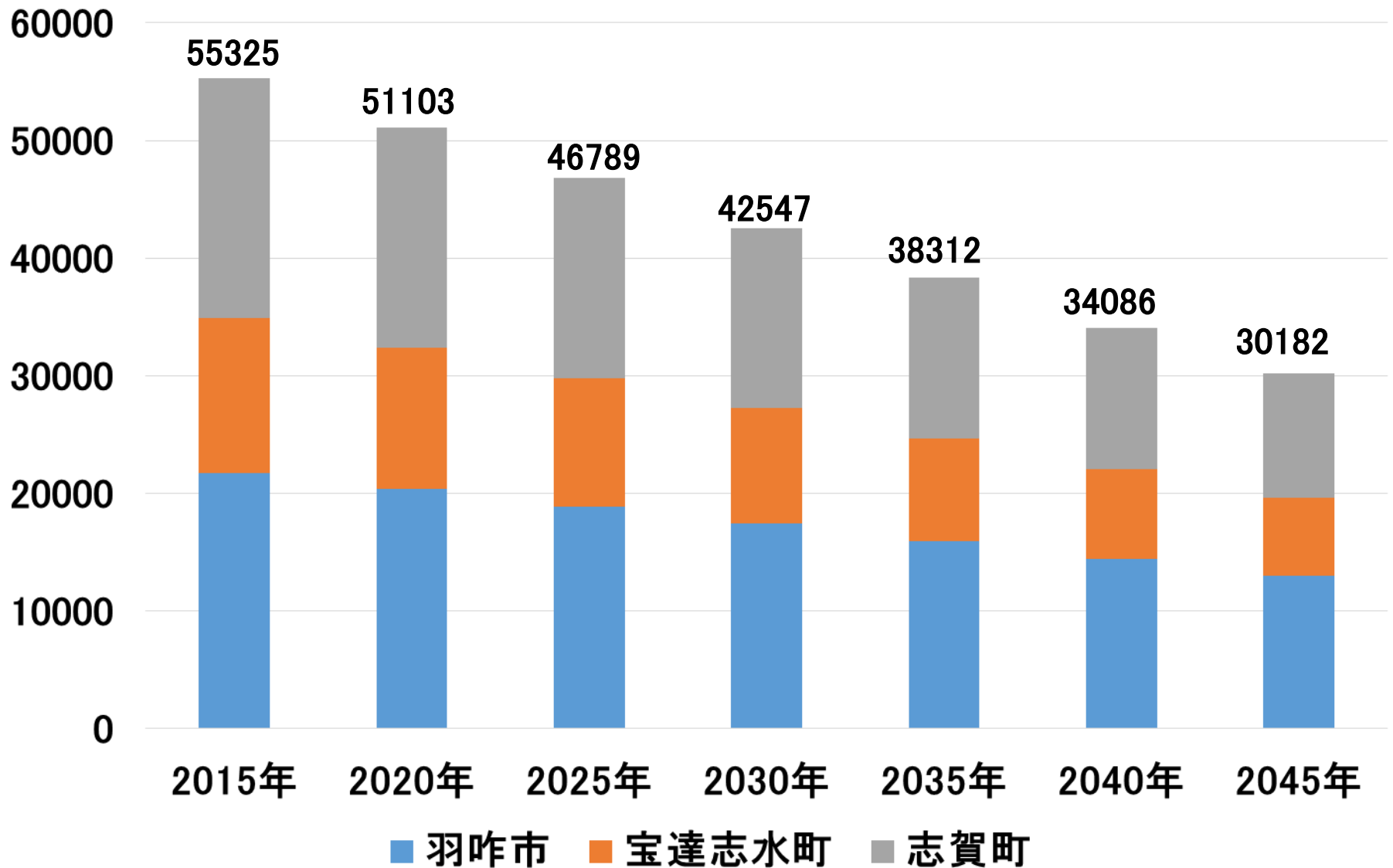
公立羽咋病院地区別入院患者割合 (2017年度総数52,161人)



- 羽咋市
- 宝達志水町
- 志賀町
- 能登地区
- 金沢市
- 加賀地区
- その他

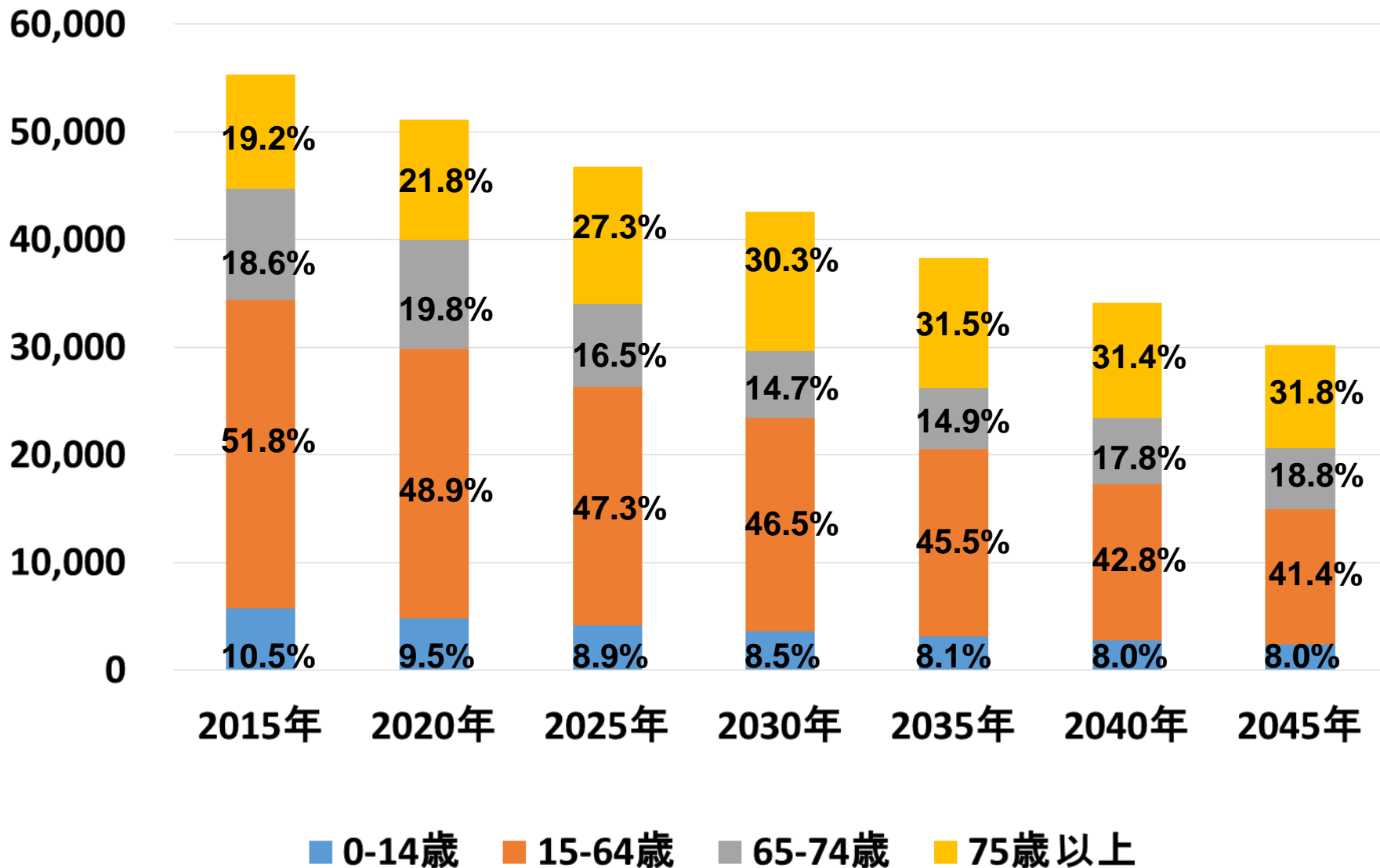
羽咋郡市の総人口の推移予想

(人口問題研究所)

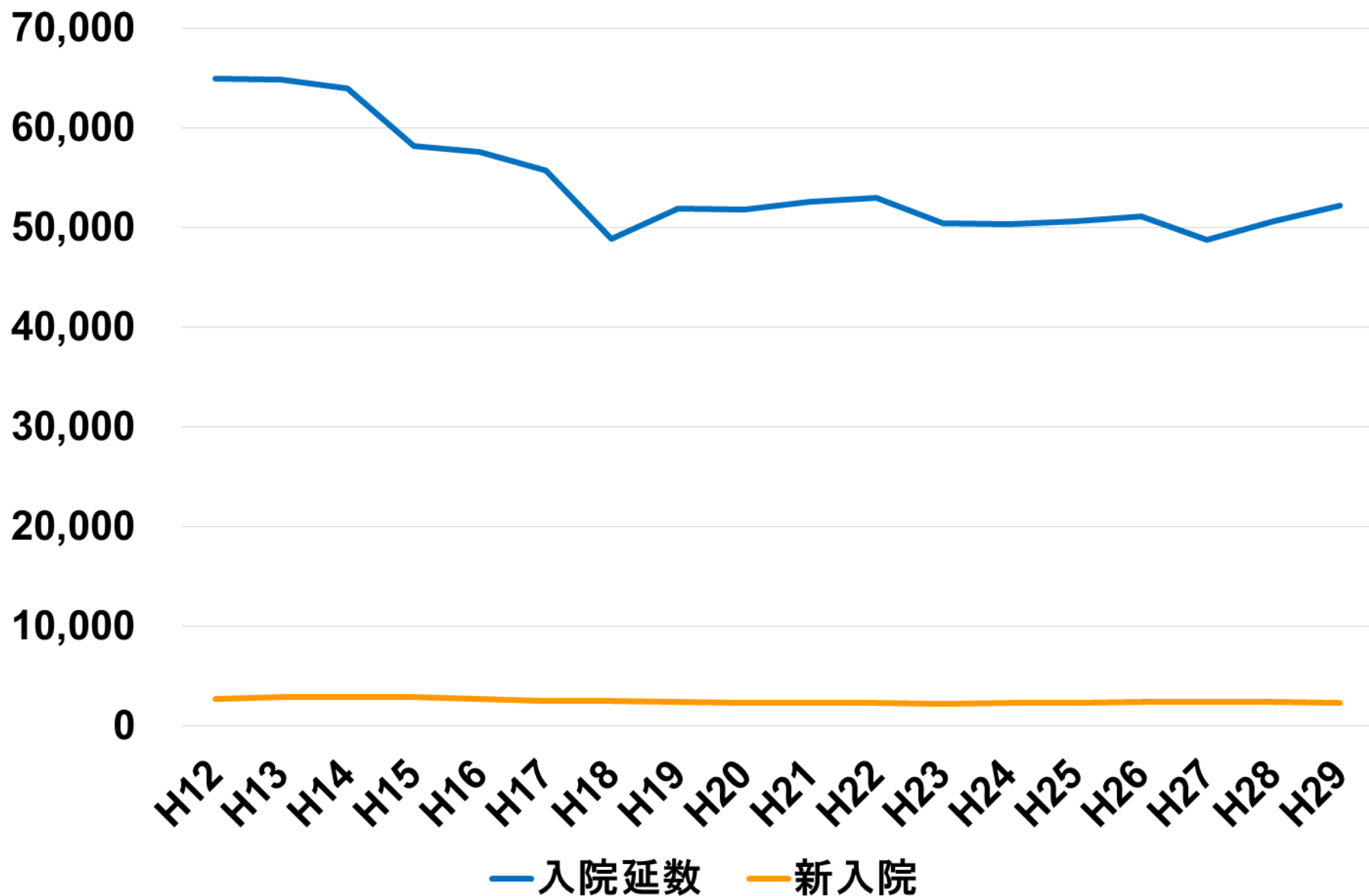


羽咋郡市の年齢別人口の推移予想

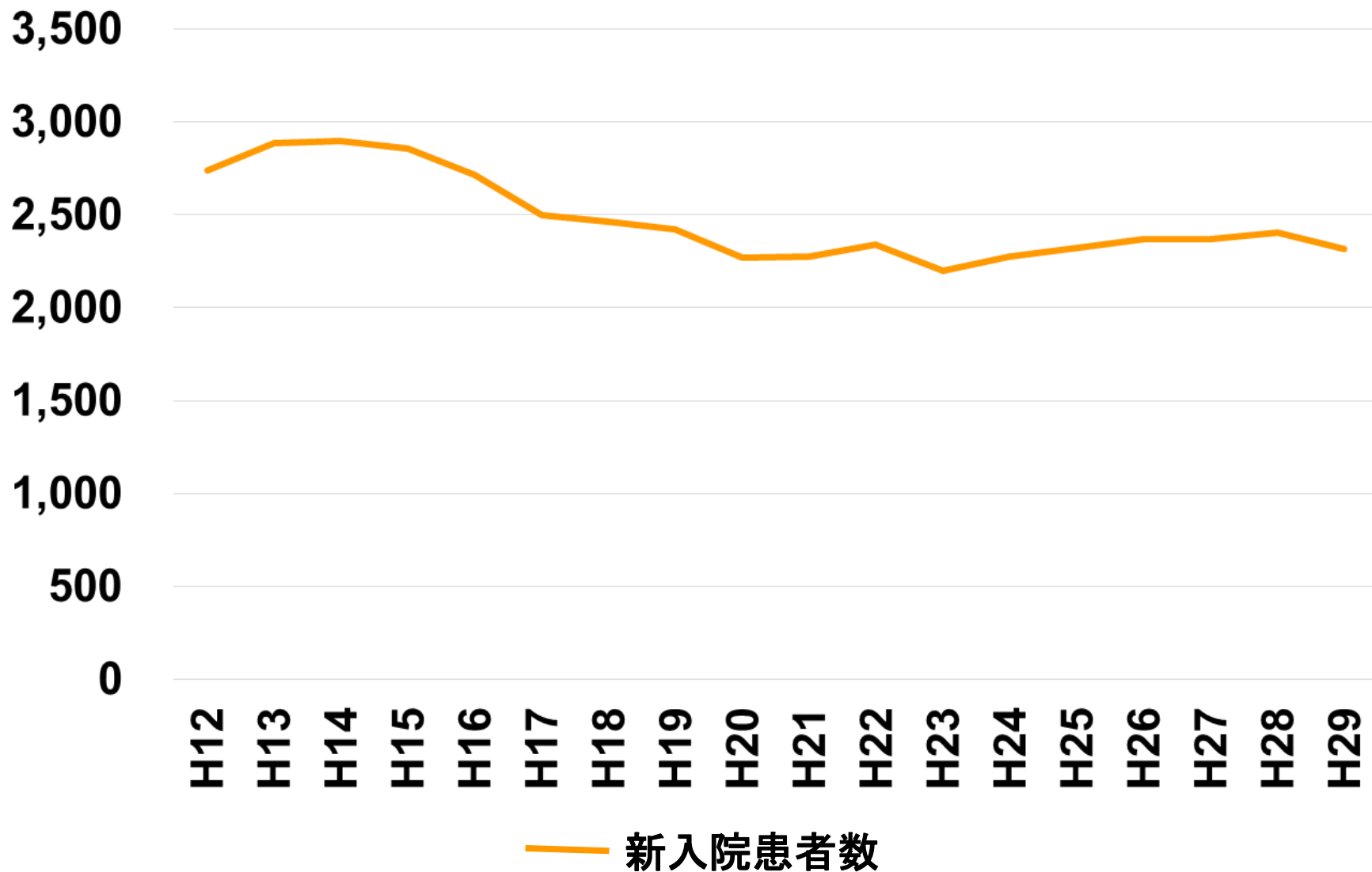
(人口問題研究所)



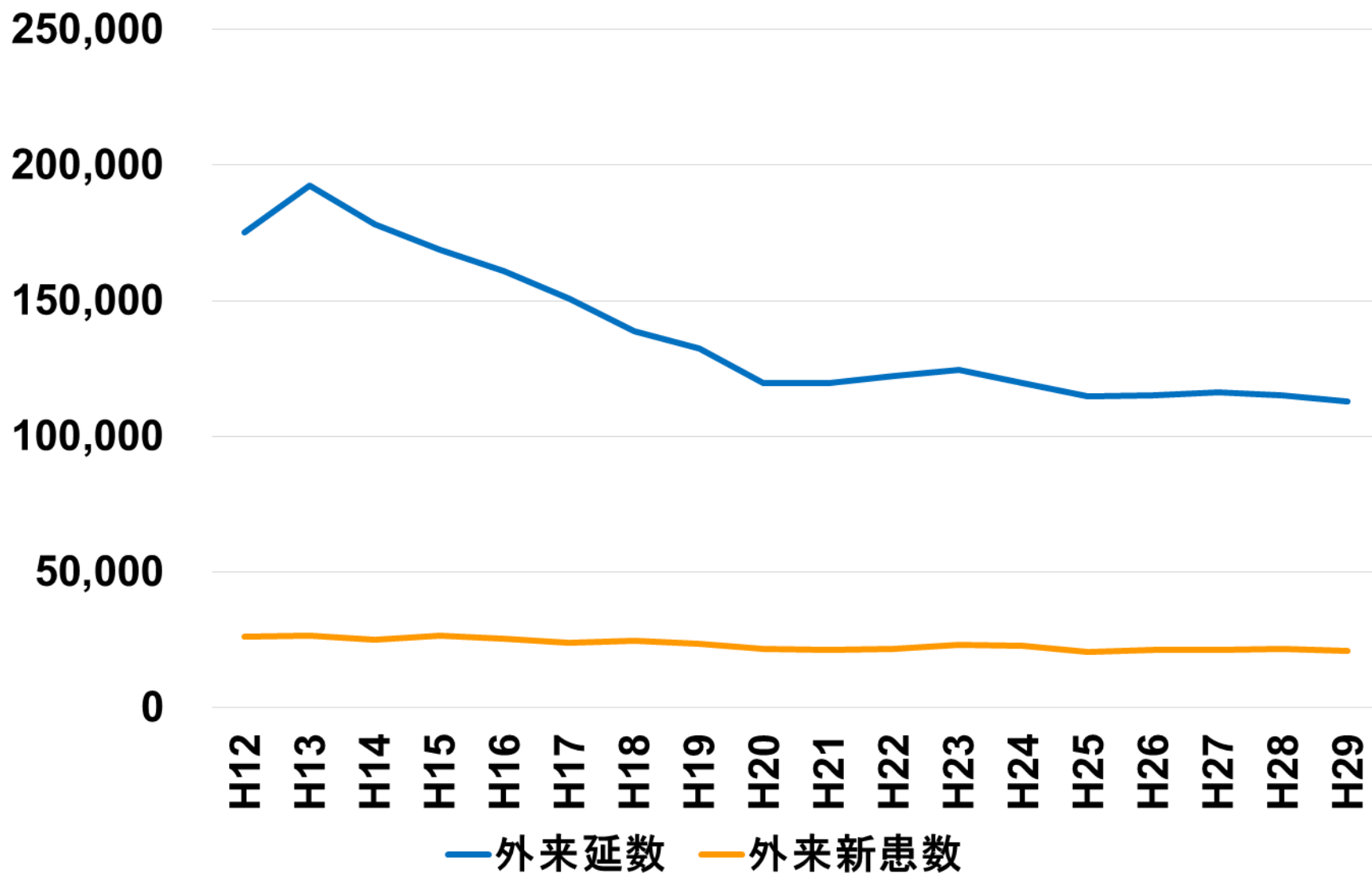
入院患者延べ数と新入院数の年度別推移



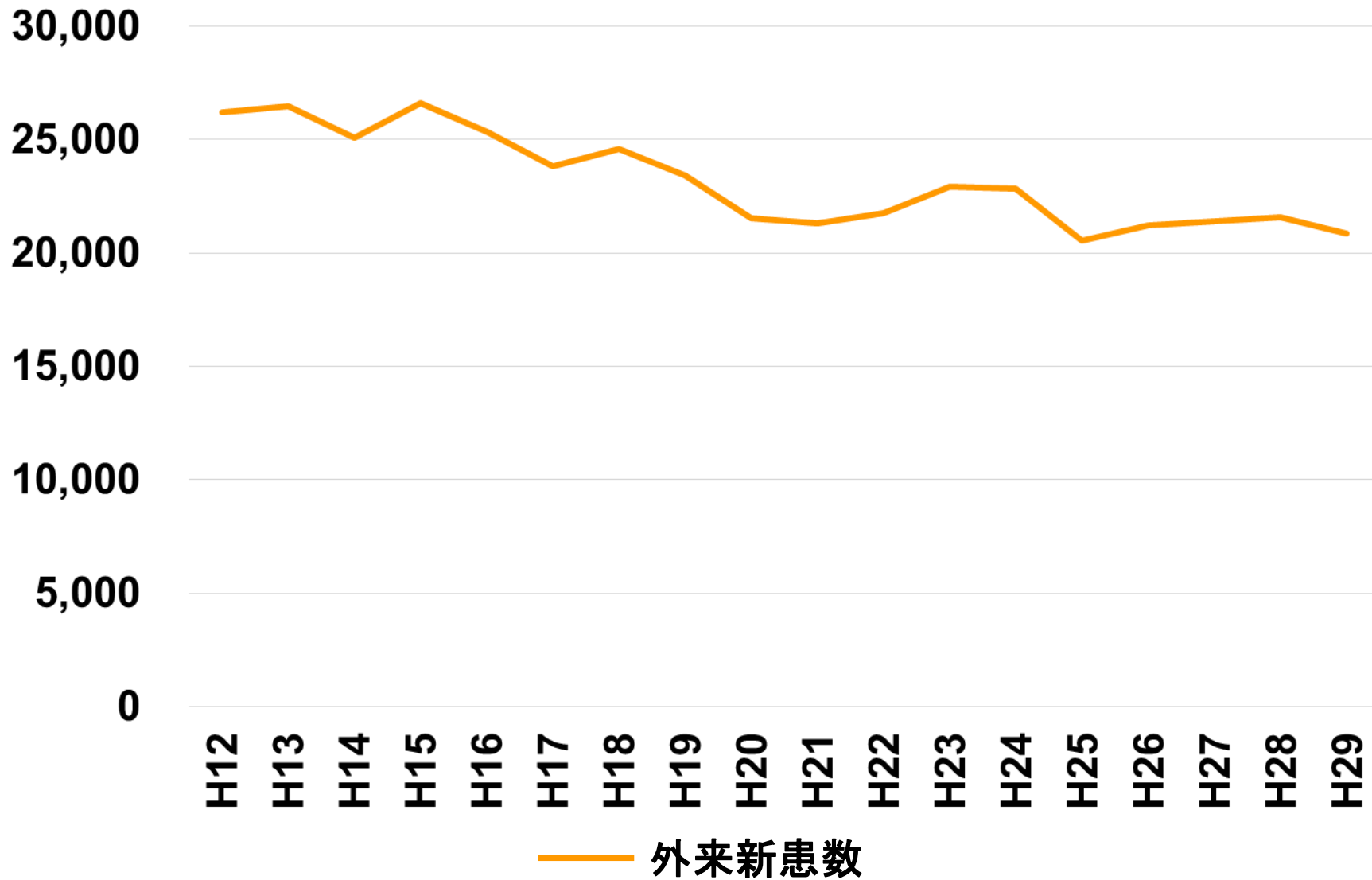
新入院患者数の年度別推移



外来延べ患と新患患者数の年度別推移



外来新患数の年度別推移



公立羽咋病院の概要

- 構成団体:羽咋市・志賀町・宝達志水町
圏域人口:約5.4万人、高齢化率 約37%
- 病床数 一般病棟116床、地域包括ケア病棟58床
診療科 14科
常勤医師 14人、非常勤医師1人、計15人
看護基準 一般病棟10:1、地域包括ケア病棟13:1
看護補助加算25:1
- 日本医療機能評価機構 認定病院
(平成16年10月、平成21年12月、平成26年10月更新)
- DPC 対象病院 (平成20年7月)
- 災害拠点病院 認定病院 (平成22年12月)
- 地方公営企業の全部適応 (平成23年4月)

病院理念

「人にやさしく、信頼される病院」

基本方針

納得できる医療の提供(仁)

地域に必要な医療の提供(和)

安全で良質な医療の提供(知)

公立羽咋病院の役割

地域中核病院として、高度医療を必要としない急性期・亜急性期の入院医療、また一部の慢性期医療および救急医療、災害医療の提供

地域包括医療・ケアの実践

- 地域において、保健・医療・介護・福祉が一体化し、住民に包括的医療・ケアを提供する
- 病院が地域（各医療機関・保健・福祉・介護）と緊密に連絡を取り、チームとして互いに質の向上を図り、結果として、住民に良質な包括的サービスを提供する

医療サービス推進室

平成15年4月開設

目的：地域包括医療の窓口として、医療・福祉・保健との連携を図り、安全で良質な医療を地域に提供する。

職員：看護師2名、MSW3名、事務員1名

主な活動

- ①医療福祉相談・援助
- ②病院連携に関わる窓口業務
- ③病院ボランティア活動の運営
- ④病院情報の管理
- ⑤広報活動の推進

開放病床運営委員会/病院機能分化推進委員会(平成15年)

病院と医師会との連携

● 病診連携状況報告、症例検討会、勉強会

病院前救急医療の現状と問題点

インクレチン関連薬の使用症例/外来化学療法

緊急被爆医療について

小児画像へのアプローチとMRI技術

一般診療に役立つ検査の話題、最近話題の臨床検査

骨粗鬆症性脊髄圧迫骨折に対する手術戦略

睡眠時無呼吸症候群、呼吸器内科最近の話題

尿管結石症の診断治療の留意点/偽膜性腸炎について

北陸の15年間で経験した興味ある症例:心臓血管外科

当院の癌治療について/C型慢性肝炎の最新治療と当院の現状について

不整脈・心房細動の最新治療など

最近の白内障治療

最新の鼻アレルギーの治療について

誰にでもできる循環器診断/当院における高齢者手術の現状

高齢化社会と腎臓病



行政・病院連絡会(平成15年)

病院と能登中部保健福祉センター、3市町の保健師(行政)との連携

在宅医療や介護を受けている方の災害時の把握方法
ロコモティブシンドロームと予防トレーニング
独居等在宅での療養困難な糖尿病患者の支援について
C型肝炎3剤併用療法と石川県肝炎診療連携
子どもの言葉の障害について考える
母乳育児支援について
周産期医療一地域との連携
生き生き健康作り教室～管理栄養士と地域との関わり～
高齢者の血糖管理のポイント
地域保健支援センターと羽咋病院の連携
児童施設における感染症予防対策について
各地域・施設の認知症対策についてー具体的取り組み
地域包括ケアシステム構築の最新情報
小児感染症とノロウイルス対策について
人生の最終段階における医療・ケアの決定プロセスに関するガイドライン作成



事業所・病院連絡会(平成15年)

病院と包括支援センター、介護施設との連携

口腔ケアについて

在宅酸素療法機器について

誤嚥予防に着目した食上げのポイント

褥瘡予防のためのシーティングについて

中心静脈・経腸栄養ポンプについて

自己注射・自己血糖測定に必要な高齢者への関わり方の要点

事例発表～緩和ケア患者の退院を考える～

感染予防対策について

知っておきたい移植医療

在宅における誤嚥予防について

療養中の急変時初期対応について

自宅・施設でできる！感染症予防

自宅と施設でできる食事療法

がん化学療法看護の基礎知識/事例検討会

床ずれ予防のための座位姿勢の取り方

姿勢づくりと褥瘡予防

透析治療に関する研修会



在宅支援に向けた病院の取り組み

- 電話訪問(平成17年):退院後の不安軽減、病棟・外来の継続看護を目的
- 入院患者情報の入院前聴取システム導入(平成20年2月)
- 総合評価を導入(平成25年7月):疾患の治療のみでなく、退院後の生活を念頭に置いて、身体機能や退院後に必要な介護サービスについて総合的に評価を行い、入院中の治療や退院調整に活用する。
- 退院後訪問指導(平成28年8月):退院後に病棟看護師が患者宅を訪問し、介護者に対して在宅における療養上の指導を行う。

多職種によるチーム医療の推進

H14年：薬剤師の病棟配置

H26年：管理栄養士の病棟配置

H29年：理学療法士の一部病棟配置

地域包括ケア病棟の稼動

—平成26年8月より、1病棟58床—

- ・病院機能分化が進められる中で、当院の役割を明確にする(急性期と回復期)
- ・当院が取り組んできた地域包括医療をさらに充実させる
- ・在宅復帰をさらに支援する
- ・地域との連携をさらに強化する

病院歯科を標榜していない公立病院と 圏域歯科医師会が医科歯科連携を構築



医科歯科連携を進めた背景

○厚生労働省医療計画について(一部改変) 平成29年3月

《5疾病・5事業及び在宅医療のそれぞれに係る医療連携体制(歯科関連)》

(8) 歯科医療機関(病院歯科、歯科診療所)の役割

- ◆ 地域包括ケアシステムの構築のため、歯科医療機関は地域の医療機関等との連携体制を構築する。
- ◆ 口腔ケアが誤嚥性肺炎の発症予防につながる: 歯科医療が果たす役割を明示し、入院患者や在宅等で療養を行う患者に対して、医科歯科連携等を推進する。

医科歯科連携システムの構築と概要

○連携のパートナー：医科 [公立羽咋病院] ⇔ 歯科 [羽咋歯科医師会]

○公立羽咋病院 医科歯科連携協議会設置

○平成29年5月：第1回医科歯科連携協議会

○平成30年4月：羽咋医科歯科連携協定書締結

●①スクリーニング歯科検診（入院患者往診連携）；2回/月

●②周術期医科歯科連携

●手術を受ける患者：腹部悪性腫瘍患者（全身麻酔）

●化学療法を受ける患者

●緩和ケア患者

●③口腔領域のスキルアップ

スクリーニング歯科検診の概要

入院患者往診連携（歯科スクリーニング検診）

1か月に2回、連携登録歯科医師が病院へ訪問し、検診を行う。

口腔トラブル
入院患者数名

連携歯科医師
訪問

事前に連携歯
科医師に連絡

検診実施

簡易的な処置

その場で対応
完結
往診なし

歯科領域の専
門処置が必要

往診依頼

往診連携
歯科医に
往診依頼

基本
「かかりつけ医」

歯科医師

往診実施

○スクリーニング歯科検診登録医（7名）

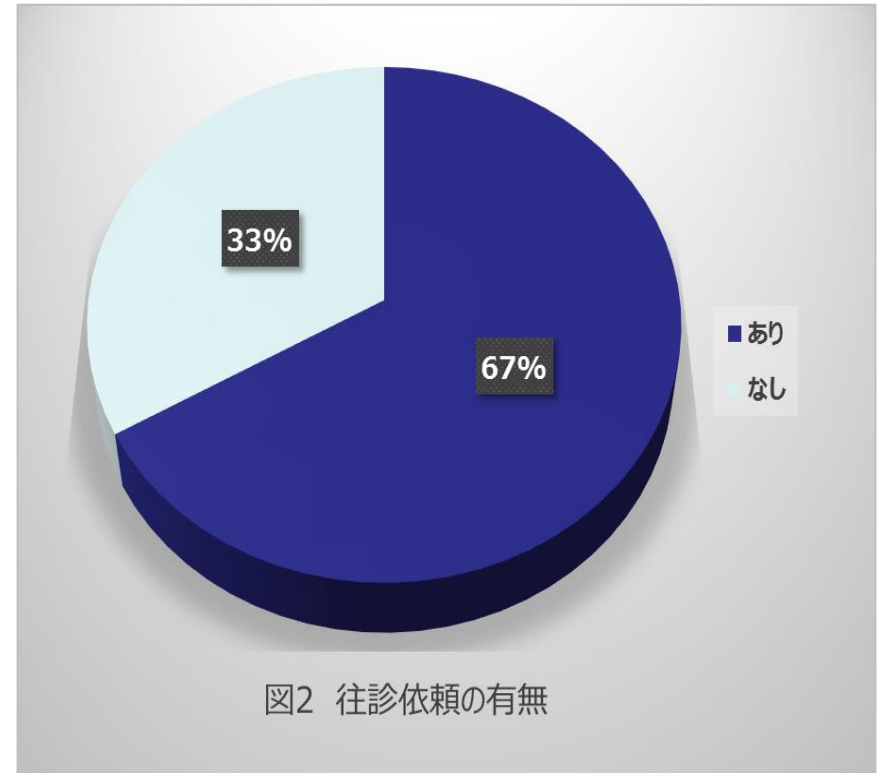
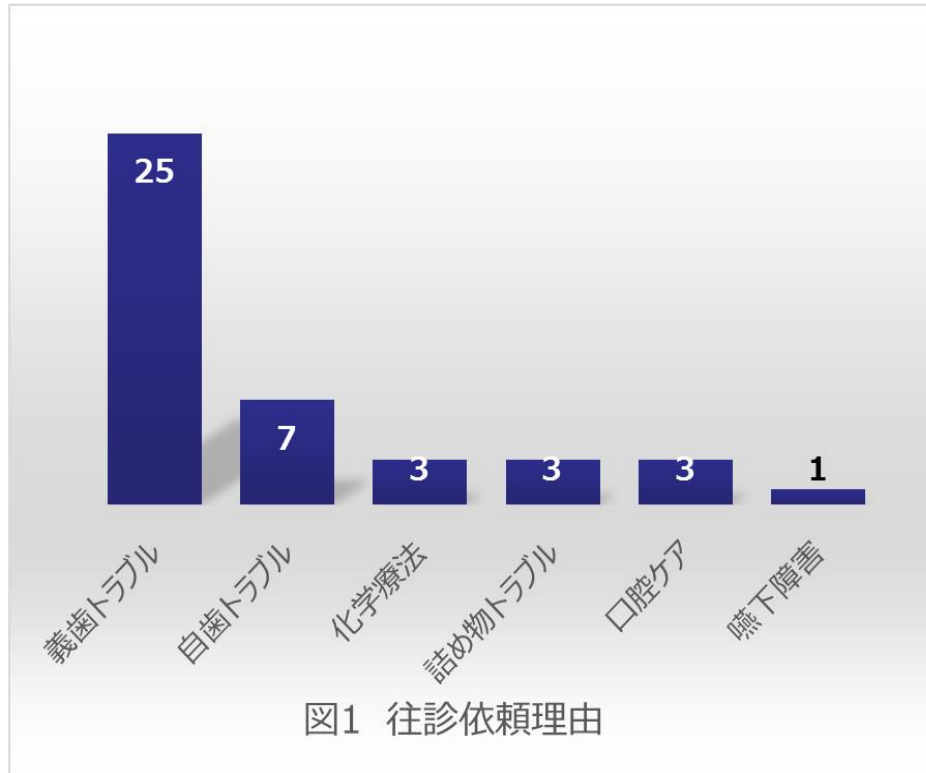
○往診登録医（10名）→往診医の1st Contact：かかりつけ医（16Km圏内）

○周術期患者受入登録医（14名）

スクリーニング歯科検診の実績

○検診回数：平成30年4月～9月 計9回 患者総数：42名

○平均年齢：84.83歳



羽咋市地域包括ケアシステム構築

羽咋市在宅医療・介護連携協議会への参加(平成28年度～)

公立羽咋病院

病院は利潤ではなく理念を追求する組織

取り組むべき医療、

取り組める医療、

取り組みたい医療、

すべての実践を！



ご清聴ありがとうございました